

## F. 低地土大群

河川、湖沼、海岸などの近くの低地の土壌。

群として「低地水田土」、「グライ低地土」、「灰色低地土」、「褐色低地土」、「未熟低地土」の5土壌群がある。

F  
低地土



茨城県つくばみらい市の沖積低地

## F1 低地水田土

元々地下水の影響が無いか弱いところに水田を作ったため、鉄集積層が出来たり、灰色化した特徴的な断面をもつようになった低地の土壌。本来なら水の利用が困難な場所に水を引いて水田耕作を行う結果として発達する排水のよい(時に排水過良の)水田土壌で、自然堤防や扇状地に典型的に分布している。

亜群には、「漂白化」(かつての老朽化水田に相当)、「表層グライ化」、「下層褐色」、「湿性」、それ以外の「普通」がある。土壌統群では土性により2～4区分される。

F

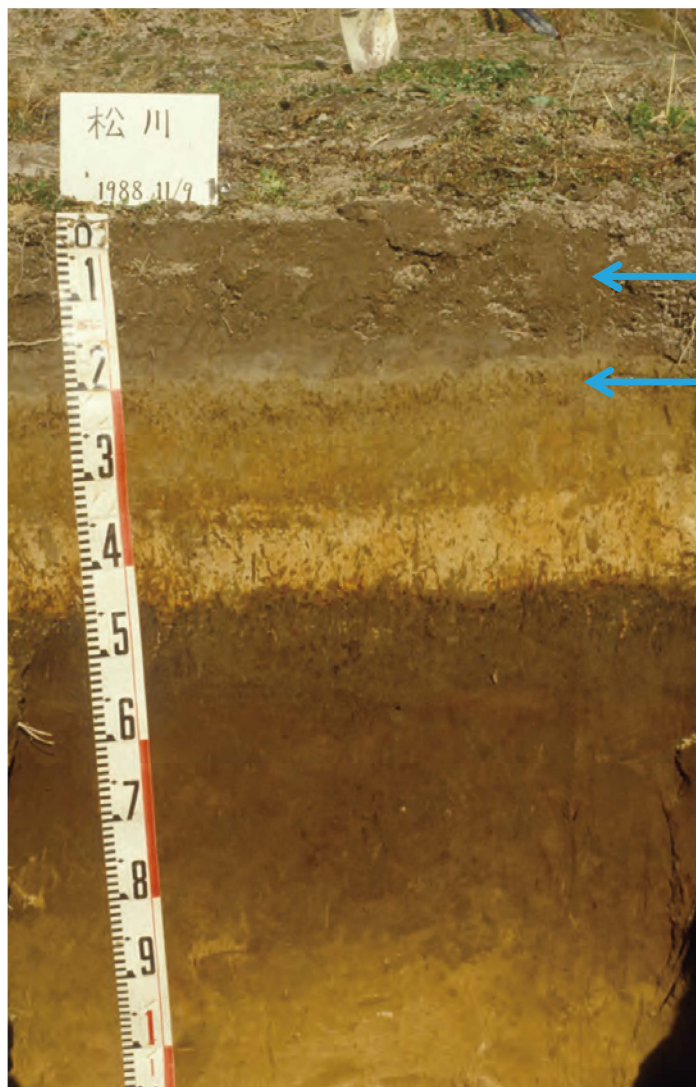
低地土



香川県国分寺町の河川に近い老朽化水田 [モノリス45]

## F1 低地水田土

代表的な土壌断面  
(漂白化低地水田土亜群)



鉄が抜けてしまっ  
て白っぽくなっ  
ている。

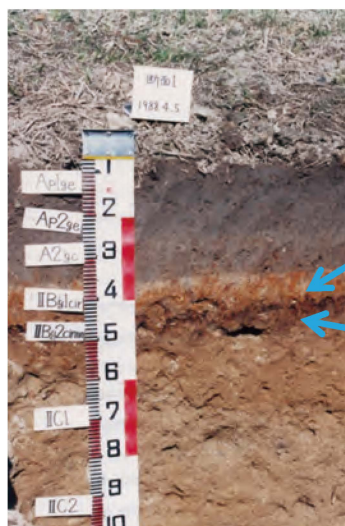
鉄やマンガン  
が集積してい  
る

F  
低地土

典型漂白化低地水田土  
長野県松川村 [モノリス87]

# F1 低地水田土

## 様々な低地水田土群



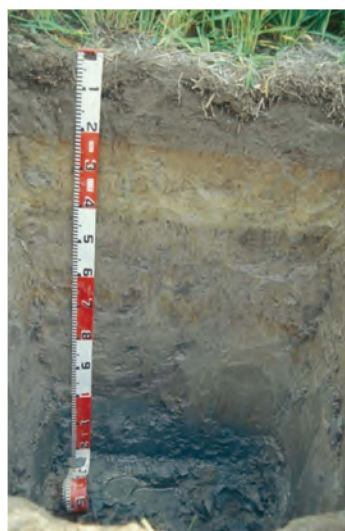
鉄集積層

マンガン  
集積層



礫質漂白化低地水田土  
香川県国分寺町 [モノリス45]

中粒質下層褐色低地水田土  
茨城県関城町(現筑西市) [モノリス22]



細粒質湿性低地水田土  
香川県坂出市 [モノリス103]



細粒質普通低地水田土  
香川県善通寺市 [モノリス18]



## F2 グライ低地土

低地土大群の中で、最も地下水位が高くほとんど年間を通じて水に飽和されたグライ層が50cm以内に出てくる土壌。氾濫原の後背湿地、三角州、潮汐平野(干潟)などに広く分布する。地下水位が高く、一般に、排水不良である。ほとんどが水田として利用されている。排水を改善するため、暗渠排水が実施されているところが多い。

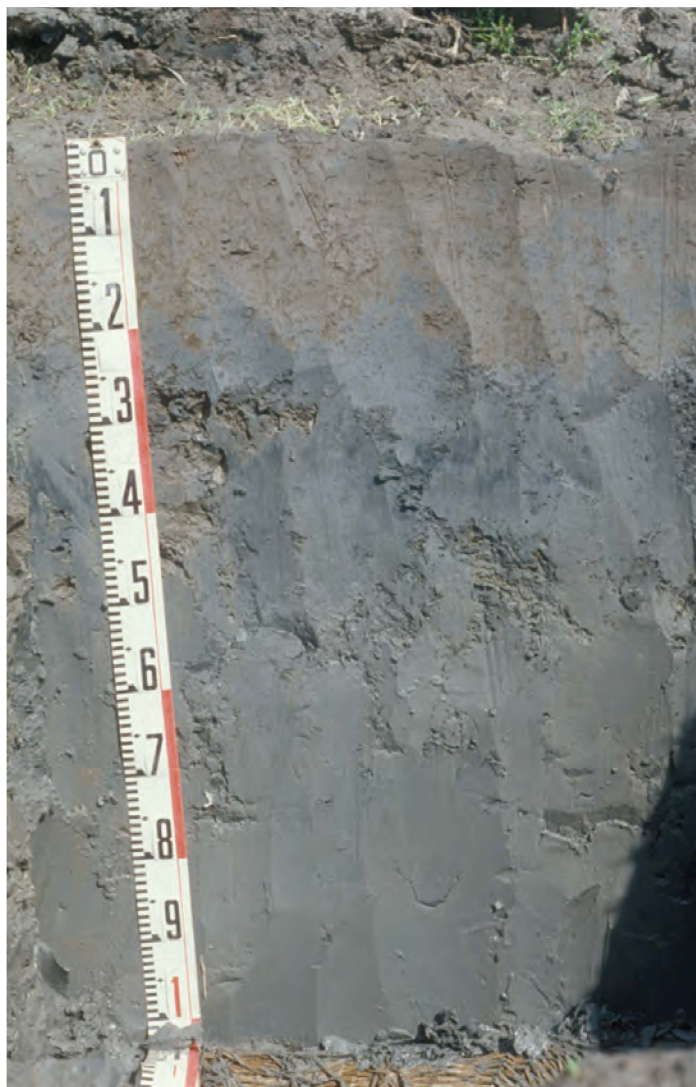
亜群には、「硫酸酸性質」、「泥炭質」、「腐植質」、「表層灰色」、「還元型」、「斑鉄型」がある。土壌統群では、土性により2～4区分される。



秋田県大潟村(八郎潟)

## F2 グライ低地土

代表的な土壤断面  
(斑鉄型グライ低地土亜群)

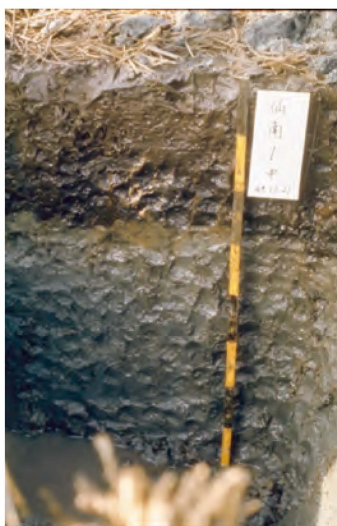


青灰色の  
グライ層

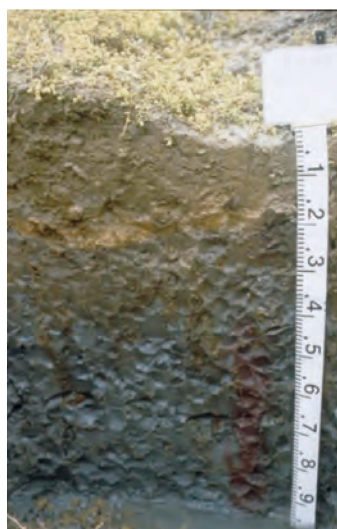
細粒質斑鉄型グライ低地土  
佐賀県有明干拓地 [モノリス26]

## F2 グライ低地土

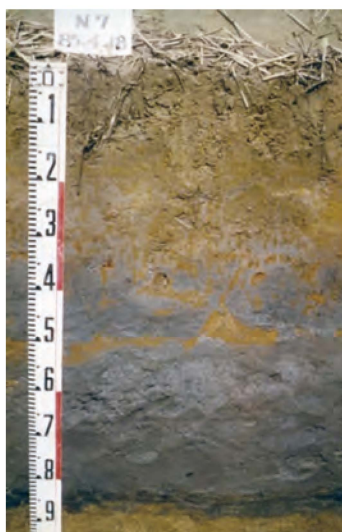
### 様々なグライ低地土群（その1）



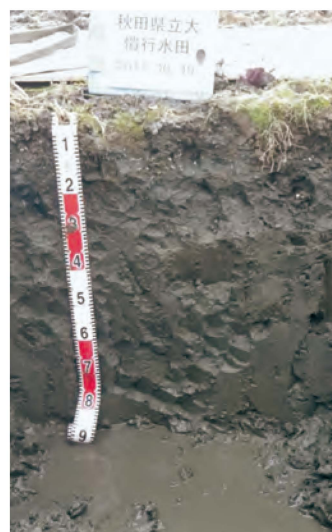
細粒質腐植質グライ低地土  
宮城県仙南平野



細粒質表層灰色グライ低地土  
新潟県巻町(農業大学校)



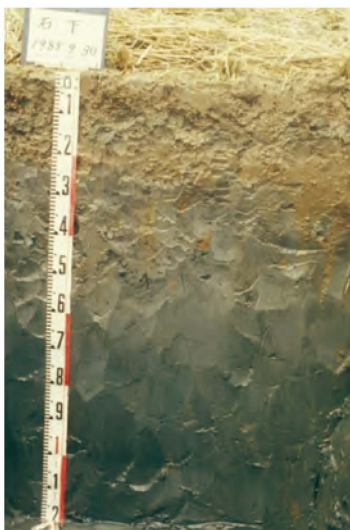
中粒質表層灰色グライ低地土  
新潟県中之島村



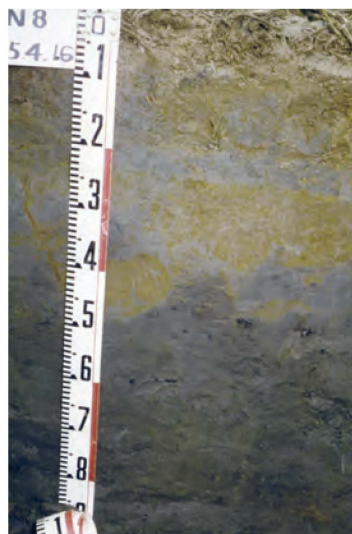
細粒質還元型グライ低地土  
秋田県大潟村

## F2 グライ低地土

### 様々なグライ低地土群（その2）



細粒質斑鉄型グライ低地土  
茨城県石下町



細粒質表層灰色グライ低地土  
新潟県中之島村

F

低地土



## F3 灰色低地土

中間的な湿性状態の沖積地の土壌。日本の水田の代表的な土壌。季節的地下水の飽和により発達した地下水湿性特徴を示す斑鉄層が地表下50cm以内に現れる。海岸・河岸平野、谷底平野、扇状地などに広く分布し、地形はほぼ平坦である。グライ低地土に比べ地下水位は低く、排水は「やや不良」の場合が多い。大部分は水田に、一部は畑として利用されている。

亜群では、「硫酸酸性質」、「泥炭質」、「腐植質」、「表層グライ化」、「グライ化」、「下層黒ボク」およびそれ以外の「普通」がある。

土壌統群は、土性により2～4区分される。



沖積低地の水田（茨城県つくばみらい市）

## F3 灰色低地土

代表的な土壌断面  
(普通灰色低地土亜群)



管状の鉄の  
斑紋がよく  
発達した灰  
色の斑鉄層

細粒質普通灰色低地土  
茨城県つくばみらい市 [モノリス182]

## F3 灰色低地土

### 様々な灰色低地土群（その1）



細粒質硫酸酸性質灰色低地土  
島根県中海干拓地

硫化物を含む湖沼成・海成堆積物は干拓地や第三紀丘陵などに見られるが、それらが酸化されると強い酸性を示す。硫酸酸性特徴は淡黄色のジャロサイト ( $\text{KFe}_3(\text{SO}_4)_2(\text{OH})_6$ ) の斑紋をもち、農業生産上問題となる。

F  
低地土



細粒質グライ化灰色低地土  
群馬県板倉町 [モノリス173]

## F3 灰色低地土

### 様々な灰色低地土群（その2）



泥炭層

細粒質泥炭質灰色低地土  
茨城県つくばみらい市



中粒質普通灰色低地土  
山形県鶴岡市



粗粒質普通灰色低地土  
新潟県中之島村



## F4 褐色低地土

沖積低地の中では最も乾いた土地にある、黄褐色の次表層を持つ土壤。自然堤防、扇状地などの地下水位が低い地帯に主として分布する。沖積地の中の微高地にあるため、畑地または集落となっていることが多い。

亜群には、「湿性」、「腐植質」、「水田化」およびそれ以外の「普通」がある。土壤統群は、土性により4区分される。



鬼怒川の自然堤防上の畑地（茨城県筑西市）

## F4 褐色低地土

代表的な土壌断面  
(普通褐色低地土亜群)



褐色の下層土  
斑紋などの湿  
性特徴を持た  
ない。

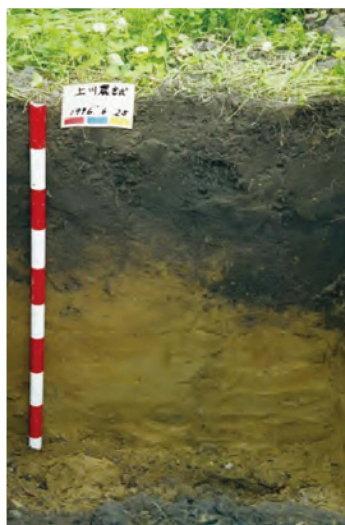
中粒質普通褐色低地土  
茨城県筑西市 [モノリス22]

## F4 褐色低地土

### 様々な褐色低地土群



中粒質湿性褐色低地土  
栃木県那須塩原市(農研機構畜草研)



中粒質腐植質褐色低地土  
北海道旭川市(道立上川農試)



中粒質水田化褐色低地土  
三重県菰野町 [モノリス111]



礫質普通褐色低地土  
栃木県那須塩原市(農研機構畜草研)

## F5 未熟低地土

未風化の土砂が堆積したままの土壌。鉄が風化遊離しないため斑鉄をもたず、ふつう灰色（土砂そのものの色）を呈していることが多い。一般に砂質または砂礫質である。現在または過去の河床にしばしば見出される。一般に排水が良いため、多くは畑として利用されている

亜群には、土壌表面から50cm以内に年間の半分以上、地下水位が出現する「湿性」およびそれ以外の「普通」がある。

土壌統群は、土性により「礫質」、「典型」の2区分される、砂質または砂礫質のことが多い。

F

低地土



栃木県鬼怒川の中州



礫質普通未熟低地土



## F5 未熟低地土

代表的な土壌断面  
(湿性未熟低地土亜群)



F  
低地土

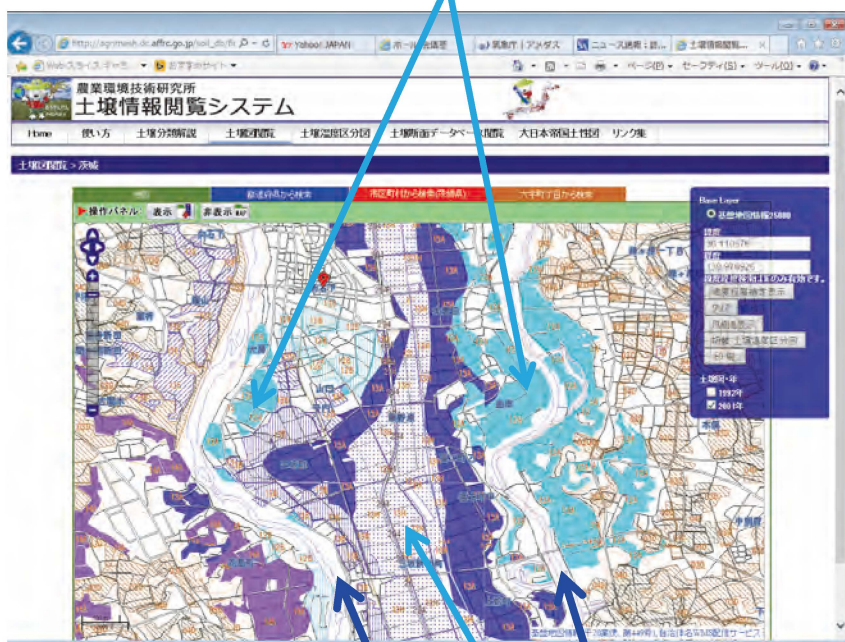
堆積したまま  
の灰色の砂

典型湿性未熟低地土  
千葉県木更津市 [モノリス101]

## 大河川沿いの低地土壌の分布

低地土壌大群の土壌は、河川などの氾濫によって運ばれてきた土砂から出来ています。河川沿いの自然堤防と呼ばれる微高地には排水の良い褐色低地土が、河川からやや離れた後背低地と呼ばれる低湿地では、排水のやや悪い灰色低地土、排水の悪いグライ低地土や泥炭土が分布しています。

河川沿いの褐色低地土



鬼怒川

小貝川

後背低地に分布する灰色低地土やグライ低地土